

日本小児耳鼻咽喉科研究会運営委員会議事録

日 時：平成13年12月1日（土）

場 所：東京商工会議所

出席者：飯野・古賀運営委員長・石神・石川・市村（第45回会長）・今村・臼井・大迫・大塚・川崎・川城・神田・岸本・工藤・佐野・鈴鹿・鈴木（賢）・鈴木（淳）・土橋・戸川・西村（第46回会長）・福永・望月・森川（第47回会長）・新井・（五十音順）
（事務局：中川）

【議題】

1. 役員改選の件

古賀運営委員長より、規約第11条により今年は3年ごとの役員改選の年であることが述べられた。戸川運営委員より運営委員辞退の申し出があった。東北地方で運営委員に適した先生の推薦を戸川運営委員にお願い後、新・石川和夫教授に依頼することになった。その他に変更はなく、現態勢の役員で3年を継続することが承認された。

2. 第45回大会の件（H13. 12. 1）

市村恵一会長より今回の大会についての挨拶があった。

3. 第46回大会の件（H14. 7. 6）

西村忠郎会長・鈴木賢二運営委員より、平成14年7月6日（土）薬業年金会館で「睡眠時呼吸障害といびき」のテーマで行なうことが報告された。パネルディスカッションやシンポジウムを盛り込むことを考案中との報告があった。

4. 第47回大会の件（H14. 12. 7）

森川明廣会長より平成14年12月7日（土）YMCAホテルで「上・下気道の炎症とその疾患（仮）」のテーマで行なうことが報告された。

5. 第48回・49回大会の件

古賀運営委員長より第48回（平成15年7月5日（土））会長に、金沢大学医学部耳鼻咽喉科の古川 亘教授、第49回（平成15年12月6日（土））に千葉こども病院耳鼻咽喉科工藤典代部長が常任運営委員会で推薦されたと報告があり、承認された。

6. 庶務報告

鈴木（淳）庶務担当委員から、平成13年6月～10月分の入・退会、10月末現在の会員数663件との報告がされ、承認された。

運営委員について下記の先生がたの推薦があった。

兵庫医科大学 耳鼻咽喉科 阪上雅史教授、昭和大学医学部 耳鼻咽喉科小林一女助教授、岩手医科大学 小児科 千田勝一教授、秋田大学医学部耳鼻咽喉科 石川和夫教授
常任運営委員について下記の先生がたの推薦があった。

神奈川県こども病院 耳鼻咽喉科 小河原 昇部長横浜市立大 小児科 横田俊平教授

7. 会計の件

川城信子会計担当委員より、平成13年度決算および平成14年度予算（案）について報告され、承認された。

決算報告の収入では寄付・協賛が多かったこと、また雑誌のバックナンバーが思いのほか良く売れていることが報告された。支出では英文の査読、発送費、ホームページ作製に費用がかかったが、去年同様黒字になったと報告された。予算は、前年の赤字項目を考慮して作成し、会場の施設使用料が安くなったこと、またメール便などを使用して発送費を下げる計画など報告された。市村委員より予算のホームページ作成費を管理費に変更してはどうかとの意見が述べられた。

8. 日本小児耳鼻咽喉科会誌編集の件

飯野ゆき子編集担当委員よりVol. 22, No. 2 の会誌について報告がされた。

100p程度の厚い雑誌になったこと、今回は原稿が速やかに集まったこと、充実した内容であることなどが報告された。EditingにはEmailの活用が大変有効であることが報告された。

（編集担当のEmail: yior1@med.teikyo-u.ac.jp）

メディカルオンライン学会誌掲載についての意見が求められた。常任運営委員会で検討し、再度運営委員会に持ち込むことにすることになった。メリットとしては知名度が上がり、インパクトファクターが上るなど。出版後、3～6ヶ月後に掲載されるので、会員数が減ることはないであろうと説明された。

9. 委員補充、その他

ノーベル賞100周年記念国際フォーラム、日本学術会議主催公開講演会「ジャパン・パースペクティブ」についてのお知らせを配布した。

日本小児耳鼻咽喉科研究会

古賀慶次郎（運営委員長）

鈴木 淳一（庶務担当）

中川 志保（事務局秘書）